

# 今！見つめてみよう 水沢のこれから



住んでいるからこそ気付かないこの町の良いところ。町を元気にするために出来ることは？他地区での成功事例を踏まえてお話しいただきます。



講師 高野 雅夫

名古屋大学大学院  
環境学研究科 教授

若者の移住支援を中心とした中山間地の地域再生＝里山再生に取り組む。自らも山村に移住し里山暮らしをしながら、「自然（じねん）の哲学」を展開中。昨年度より水沢地区での空き家活用ワークショップに参加。

日時 令和5年 8月 20日(日)  
9:30~11:00

会場 水沢小学校体育館

参加お申込みはこちら ➡



電話でのお申し込みは下記の団体事務局まで「お名前」「町名」「電話番号」をお伝えください。

## 水沢地区では子どもの数が減っています・・・が

令和5年4月1日現在の幼少人口

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳
11	10	12	11	7	16	25	10

すべての子どもさんが水沢小に入学されるかはわからないものの、

**〳 複式学級のピンチは回避できるのでは！ 〳**  
**〳 という変化の兆しがみえています。 〳**

・・・とはいえ、少しでも児童を増やす取り組みは進めていく必要があります。

児童数を増やすには、若い世代が地域に住んでもらえるようにする必要があります。

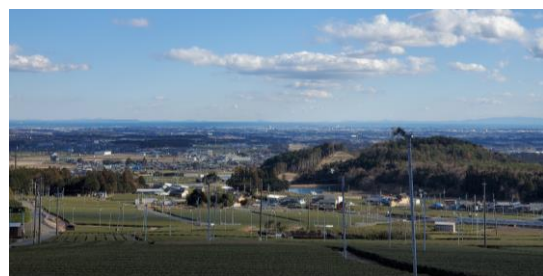


昨年度からの取り組みで市街化調整区域では土地利用（建築行為）が限定的なものとなり、手続きに時間はかかるものの一定の条件を満たせば自己用住宅が建てられることがわかってきました。

また、令和5年3月には、自己用住宅を貸家とすることも簡易な手続きで済むようルールが改正されています。



こういった状況のなか、今年度は利用されていない土地や家屋の活用を希望される場合に地域から不動産業者・宅地建物取引業者への情報提供を行う仕組みづくりに取り組んでいます。



水沢の魅力は何か？地域に移住・定住する人を受け入れるためにどんな準備が有効か？  
全国の事例に詳しい先生のお話を聞ける貴重な機会となります。  
夏休み期間中ですが、興味のある方はぜひご参加ください！